

官報

號外

明治四十年二月八日

金曜日

印刷局

○第二十三回 帝國議會 衆議院議事速記録第五號

明治四十年二月七日(木曜日)午後一時八分開議

議事日程 第四號 明治四十年二月七日

午後一時開議

第一(第一號)明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案

第二(第二號)明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案

(特第一號)明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

第三(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

第四關東都督府特別會計法案(政府提出) 第一讀會

第五右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第六臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八事業公債條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九北海道地方費法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一千住製絨所据置運轉資本增加ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二明治三十九年法律第十三號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三在外指定學校職員退職料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四關稅定率法輸入稅表中改正法律案(東尾平太郎外八名提出) 第一讀會

第十五萬國衛生會議並萬國人口統計學會參列員派遣ニ關スル建議案(山根正次郎提出) 第一讀會

第十六萬國博覽會開設ニ關スル建議案(森本駿外二名提出) 第一讀會

第十七○副議長(箕浦勝人君) 議長缺席ニ付イテ本席ヲ讀シマス、是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

官報號外

明治四十年二月八日(明治三十五年三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第五號 副議長ノ報告

二三

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

(第一號)明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案

(第二號)明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案

(特第一號)明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

關東都督府特別會計法案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

輸入原料砂糖稅法中改正法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

萬國衛生會議並萬國人口統計學會參列員派遣ニ關スル建議案

提出者 山根 正次郎

萬國博覽會開設ニ關スル建議案

提出者 森 本 駿君 竹内 正志君 木村 半兵衛君

一武藤金吉君ヨリ足尾銅山ノ暴動取締ニ關スル質問趣意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

足尾銅山ノ暴動取締リニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十年二月七日

提出者 武藤 金吉

贊成者 大竹 貫一

外三十名

足尾銅山暴動取締リニ關スル質問主意書

一足尾銅山鑛業所ニ於ケル二月四日以來數日間ニ涉リテノ大暴動ハ鑛業主ト勞

働者ノ間ニ起リタル一棒事ニ過キスト雖モ而モ交通ヲ遮斷シ電話電燈電信ノ

電線ヲ切斷シ道路橋梁鐵道家屋建物ヲ破壞燒失シ終ニ數多ノ人命ヲ傷フニ至

ラシメ數百ノ警察官ヲ以テ鎮撫スル能ハス尙高崎聯隊ヨリ出兵スルニ至リタルハ

政府當局ノ無責任ニアラスヤ

一足尾銅山鑛業主ハ鑛業條例第五十九條ノ豫防命令ニ違反シ居リ鑛業ヲ停止

ス可キハ勿論ナリト雖モ二月四日以來ノ大暴動ニヨリ多ク破壞サレ明ニ公安公

益ヲ害シツアルニ何故ニ政府ハ先ツ以テ鑛業ヲ停止シ而シテ暴動ヲ取締ラサ

ルヤ

右質問候條速ニ答辯アラムコトヲ望ム

一委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

明治三十九年法律第十三號中改正法律案

委員長 宮 部 襄君 理事 佐治 幸平君

郵便法中改正法律案

委員長 多田 作兵衛君 理事 加瀬 禧逸君

在外指定學校職員退職料及遺族扶助料法中改正法律案

委員長 上野 彌一郎君 理事 松家 德二君

出 延謫モ出マシテ後聽飭キテニサイマセウカ 其クシイ問題 後聽飭キテ程度ニ置キ
マシテ、ツレ程以上ニ此沿岸ノ被害民ト云フモノハ、苦痛ヲ感シテ居ルノデゴザイマス、

而シテ年々古河氏ノ此精銅ノ產額ハ、一ノ位デアルカト申シマスレバ、年々一千五百餘萬斤ノ精銅ガ出來マシテ、其年々ノ純益ハ、五百萬圓以上ニナリテ居ルノデアリマス、實ニ此足尾銅山ノ鑛業ノ盛大ナルコト、國富ヲ増進スル上ニ於テハ、日本否ナ、世界ニ於テ有數ノ鑛山デアリマスルガ、捌テ是ガ國家及此人民ニ對シテドウ云フ影響ヲ及ボシテ居ルカト云フコトデゴザリマスレバ、古河氏ハ僅カニ鑛區稅其他ノ稅ヲ五萬圓拂ッテ居ルノデアリマス、而シテ其古河氏ノ足尾銅山アルガタメニ國家ハドレ位ノ損害ヲ致シテ居ルカト云フコトニ至リマシタナラバ、實ニ驚クニ堪ヘタル次第デアリマス、渡良瀬川沿岸ノ府五縣、三十餘萬ノ人民ハ、年々如何ナル被害ヲ被ッテ居リマスカ、又近クハ栃木縣ノ大谷川沿岸ノ人民——二十餘萬ノ人民モ同ジク此被害ヲ被ッテ居ル、今日デハ足尾銅山ノ被害ハ獨リ渡良瀬川ニ限リマセヌデ、大谷川ニモ及シテ居ルト云フコトヲ新タニ御記憶ニナッテ戴キタイト思フ、其他森林ノ被害ニ至リマシテ、片品川、利根川、地名デ申シマシタナラバ細尾、日光、中宮祠、粕尾、秋山峠、澤入、根利、藤原、山田郡、梅田村、山ニ致シマシタナラバ、金剛山、古峰山、男體山、マデ及ヒマシテ殆ド十里四方ノ間ハ悉ク禿山トナリテ居リマシテ、當議會即チ昨年ノ議會ニ於テ、森林費七十八萬圓ヲ議決シテ、當春ハ其工事ニ著手ヲ致シテ居リマスケレドモ、何ノ效モゴザイマセヌ、ソレハ何ノ效モナイカト云ヘバ、今私ガ是カラ述べマストコロノ豫防工事ト云フモノガ、少シモ完全シテ居ナイ、否ナ、豫防工事ト云フモノハ、其名バカリデアッテ、其實際ハ行ハレテ居ナイト云フコトノ事實ガゴザリマスノデゴザリマス、ソレデ此昨年ノ議會デ極メマシタ十年ノ繼續費ノ七十八萬圓ト云フモノモ、マルデ毒煙ノタメニ葬ラレタトコロノ煙トナリテ居ルノデゴザリマス、否ナ、煙トナリテ取り同シガ附カナイコトニナッテ居ル、ソレデ此豫防命令ノ條項ハ、ドウ云フコトデアルカト云ヘバ、鑛業條例ノ五十九條ニ「鑛業上ニ危險ノ虞アリ、又ハ公益ヲ害スルト認ムルトキハ、所轄鑛山監督署長ハ鑛業人ニ其豫防ヲ命シ、又ハ鑛業ヲ停止スヘシ」トアルノデアリマス、ソレデ此五十九條カラ豫防命令ヲ引キマシテ、豫防命令ハ三十七項ニ依リマシテ、頗ル嚴重ナ命令ガアルニモ拘ラズ、此命令ト云フモノハ一モ足尾銅山ニ限リテハ、行ハレテ居ナイノデアリマス、沈澱池ノ如キ、濾過池ノ如キ、又煙道、煙室、煙突、脫硫塔、ソレカラ堆積場ト申シマス彼ノ鍍、捨石、泥渣、先砂ヲ廢棄スル場所ノ取締、土砂ヲ打止スル命令、ソレカラ坑ノ水ヲ處理スル方法、ソレカラ雨ノ水ヲ打止スル方法等ガ、豫防命令ノ主要デゴザリマス、ソレデ此沈澱池ハドウナリテ居ルカト云フト、本山、小龍、通洞、此三箇所ニ沈澱池ガアッテ、其面積ガ四千二百八十八坪七合高デ此沈澱池ハ石灰乳ヲ攪拌シテ、水ヲ綺麗ニシテ、落スト云フ規程ニナリテ居ルニ拘ラズ、其實命令通りニナリテ居ナイ、四千二百坪モアル所ニ屋根ヲ設ケルト云フコトガ、明ニ命令ニナリテ居ルニモ拘ラズ、屋根ハ一モ設ケテナイ、ソレハドウカト云フト、四千坪設ケレバ、例ヘバ一坪三十圓掛ルトシテ、三四ノ十二萬圓カラノ費ガ掛ルカラ、是等ノコトハ少シモ行ッテ居ナイ、沈澱池ノ上ニ屋根ガナレバ洪水——雨水——雨ガ降レバ彼ノ毒ノ水ガ溢レテ川ニ出ルカラ、此命令ハ少シモ行ハレナイ、沈澱池ノ護岸工事——何レモ此足尾ノ山ハ御承知ノ通り摺鉢ノ中ノヤウナ所デスカラ、皆山ノ端川ノ端ニ沈澱池ガアルノデ、餘程堅牢ニシナケレバ保タヌニ拘ラズ、極メテ軟弱ノ護岸工事ヲ施シテ、洪水ノ度毎ニ沈澱池ガ破壊スル、現ニ昨三十九年七月ノ洪水ノトキニハ、通洞ノ沈澱池ガ破壊シテ、鑛毒ヲ下流ニ流シタコトハ、當局者モ御承知アラウ、又堆積場ハドノ位ト云フト、此命令ガ出タノハ明治三十年デアッテ、其當時十萬八千二百九十六立方坪アッタモノガ、三十五年ニハ三十二萬六千五百立方坪ニ増加シテ、今日デハ精銅ガ、段々増

加スト云フノ、殆ど今日マデ五十万坪ニ擴ガテ居ル、ソレデ此堆積場ハ緩、捨
石、泥渣、先砂ナドヲ積シテ置クノデアルガ、其堆積場ノ方法ハドウスルカト云ヘバ、高
サ五尺、巾三尺ノ煉瓦石、若クハ石垣ヲ以テ堅牢ニ造テ、山ノ水ガ落チテ流レナイヤ
ウニシテ其所ニ積シタル泥渣拾石ガ川ニ落チナイヤウニスル云フ堆積場ノ命令デアル
ニモ拘ラズ、是等ノ方法モ一モシナイ、唯其所ニ擲リ放シテ居ル云フ堆積場ノ現
況デアルマ、ソレカラ足尾銅山ニハ穴ガドノ位アルカト云ヘバ、唯今ノ申シテ通り穴ノ
延長ガ四万尺ゴザイマス、其四万尺ノ舊洞新洞カラ出ル水ハ非常ニ莫大ノモノデ、其
水ガヤリ濾過池沈澱池ヲ透シテ此石灰乳ノ攪拌法ヲ行テ、淨水ニシテ川ニ落スト
云フ命令ガアルニモ拘ラズ是等ノ處置ハ少シモナイ、少シモナイノミナラズ、是等ニ要スル
算ガアリマス、概算ト云フモノ、長サガ本山ニ於テハ延長ガ四千九百四十五尺デアリマ
ス、是等ハドウシテモ堅牢ナル樋管ヲ造レト云フニ極ク薄イトコロノ板ヲ以テ造テ居ル、
サウシテ其途中渠流ノ延長ガ、五百七十六尺二寸ニモナッテ居ル、其間ニ橋ガ十二モ
アル、板ガ悉ク腐テ居ルノデ、毒水ガ絶ヘズ川ニ流出シテ居ル、殊ニ其命令ヲ破シタモ
ノハ三十年デ、本年カラ殆ど十年以上モ經テ居ル、一年ノ修繕費ハ二十万圓以上
掛ルノデ、古河鑛業事務所デハ更ニ之ヲ擴ハズニ腐朽ノ儘ニシテ置クト云フノガ、事實
デアリマス、ソレデ其他豫防命令ニ於テ最モ危險ナルハ雨水デアル、雨ノ水ハドウシテモ
防ダコトハ出来ナイ、例ヘバ沈澱池ニシテモ、堆積場ニシテモ、又坑道ニシテモ雨ト云フ
モノハ防グコトハ出来ナイ、雨ノ降ッタトキハ此鑛毒ガ流レ次第ト云フコトニナッテ居ル、
然ルニ此豫防命令デ雨水ハ一滴モ溢スコトハナラヌト云フコトニナッテ居ルニ拘ラズ、之ヲ
防グコトハ出来ナイト云フノガ事實デアリマス、諸其他ノ豫防命令デ、ドウ云フモノガアルカ
ト云ヘバ、此他ニ私ハ——徒ニ議論スルノデゴザイマセヌデ、事實ニ徴シマシテ又總テノ
分析ノ結果ヲ以テチマシテ證明ヲ致スモノデアリマス、其渡良瀬川ノ水ハドウ位ノ毒分ヲ
含シテ居ルカト申セバ、渡良瀬川ノ足尾銅山ノ切幹澤入ノ二箇所ニ技術家ヲ連レテ
行テ、分析ヲシタトコロ三十七年ニハ「リトル」中、銅ノ含有分ガグラム「ノ」位デ
アリマシテ、〇・〇〇六八八九三三十八年ニハ、〇・〇〇七九二、三十九年ニハ、〇・〇一五
九ト云フコトコロ位ヲ示シテ居ル、ソレカラ其他硫酸ノ含有量ハドウ位カト云フト、三十
七年ニ於テハ、〇・一五二八、三十八年ニハ、〇・一八五九、三十九年ニハ、〇・二〇五
七ト云フコトコロ硫酸銅ト云フ毒分ヲ含シテ居ル、今ハ害ガナイト云フコトヲ申シマス
ガ、斯様ナル毒分ヲ含シテ居ル云フコトハ、年々私共ガ其水ヲ取り分析ヲシタ結果デ
アリマス、ソレカラ硫酸銅ノコトニ付テ御話ヲシテ質問ヲシタイと思ヒマス、硫酸銅ト云
フト煙毒ト云フモノニ對シテ硫酸銅ト云フモノヲ造テ之ヲ防グコトニナッテ居ル、歐米ノ
鑛山ニ於テモ此硫酸銅ト云フコトガアルサウデスガ、歐米ニ於テハ我國ノ如クニ川ノ水ヲ
利用シテ灌溉ニ用エル所ハアリマセヌ、從テ其附近ノ山林村落等ニ落チルノミデスガ、
此足尾銅山ノ煙ハ十餘方里ノ山林ヲ枯ラスノミナラズ、下ニモ流レテ來ルデアリマス、ソ
レデ此硫酸銅ノ組織ハ土臺ハ梁間三十八尺、桁行五十六尺、塔ヨリ各爐マデ總延長
一千八百八十六尺、ソレデ總テノ爐ヲ通シテ、其煙ヲ一ツニ集メテ硫酸銅ニ持ッテ來
テ、水ト石灰乳ト混ゼテ石灰ノ雨ヲ降ラシメ沈澱サシテ、毒ヲ除クコトニ云フコトデア
リマシテ、石灰ノ使用高ハ一日ニ大約一千貫目、水ハ一分時間ニ六十六方尺ヲ用ユ
ルサウデアリマスガ、是ハ技術家ガ申シマス、又足尾銅山ノ方カラ申シマスレバ、效能アリ
ト申シテ居ルノデアリマスガ、是ハ技術家ガ申シマス、此硫酸銅ハ如何ニヤッテモ煙毒ヲ
防グコトハ到底出来ナイ、又此煙毒ノタメニ森林ノ經營——此植林杯ガ出来ヤウ答ガ
ナイ、足尾ノ山ハ草木ドコロデナク、苟モ青イ物ト云フモノハ一葉モナイ、一葉モナイノミ

ナラズ、此細尾峠カラ日光ノ中禪寺附近ニ至ルマデ段々ニ禿ケテ來ル、又群馬縣ノ方
ハ澤入カラ藤原村ニ至ルマデ總テノ山ガ段々ニ禿ケテ居ルト云フ事實デアッテ、到底此
煙毒ヲ防グコトハ出来ナイノデアリマス、又是等ノ小サナ事デ防グ譯ノモノデナイ獨リ足
尾バカリデナイ、同僚ノ御方カラ聞ク所ニ依リマス、秋田縣ノ小坂銅山ノ如キハ、二十
里先ノ八戸マデモ煙毒ガ飛シテ行ク、ソレガ風ニ當ッテ稻ノ實ル時デモ稻ガ實ラナイ、況ヤ
其他ノ總テノ作物ハ悉ク枯レシマフ、又愛媛縣ノ別子銅山ニシテモ灌溉地ノコトハ承
知致シマセヌガ、灰煙ノ四方ニ飛散スルコトハ、ヤハリ同様デアル、此鑛毒ノ問題ハ獨リ
群馬、栃木、茨城、千葉ノ問題デアリマセヌ、今ヤ鑛業ガ益盛ニナルト同時ニ是等
ノ取締リハ一日モ忽諸ニ付スベカラザルコト、思フノデアリマス、此硫酸銅ト云フモノハ效
能ガ無イト云フコトヲ認メルノデアリマス、ソレカラ此銅分ハ即チ流出ノ銅毒ハドウ位ノ
毒ノ力ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ申シマスレバ、實ニ恐レベキモノデアリマシテ、十萬分ノ
一乃至一萬分ノ一アレバ、殆ど植物ガ悉ク枯レテ死シマフト云フコトニナッテ居ル、
況ヤ砒素ニ於テヤ、砒素ノ如キハ百萬分ノ一アレバモソレバ畜類ハ悉ク死スコト
ニナッテ居リマス、其認ロシキトコロノ毒ガ下流ニドウ位流レテ居ルカト云フコトニナリマシ
タナラバ、昨年ニ於テ及本年ニ於テ分析ヲシタ結果ヲ私ガ申シマスレバ、是ハ水分百分
ノ一ノ銅ニ、〇・〇七四〇、ソレカラ上ニハ群馬縣山田郡毛里田村ノ字桑原ノ久保
田健次郎ト云フ人ノ有テ居ル地所デアリマス、ソレカラ一々讀ムノモ煩ハシウゴザイマスガ
ラ二三箇所讀シテ筆記ニ留メテ置キマスガ、尙群馬縣山田郡毛里田村ノ字桑原ノ久保
田健次郎ト云フ人ノ有テ居ル地所デアリマス、即チ是ハ一萬分ト算ヘマシタナラバ、一萬分
ノ中ニ〇・〇七一〇ヲ存シテ居リマス、即チ是ハ一萬分ト算ヘマシタナラバ、一萬分
ノ中ニ三百八十ノ銅分ヲ含シテ居ル、是ハ如何ナル植物デアリマシテモ、枯レザラント欲
スルモ得ナイト云フ事實デアリマス、ソレカラ又砒素ハドウ云フモノデアルカト云ヘバ、砒素
ト云フモノハ私ガ説明スルマデモナク、毒ノ中デモ是ヨリ以上ノ毒ハ無イトデアリマス、此
毒ガ一萬分ノ中ノ百〇八ト云フモノハ群馬縣ノ山田郡毛里田村ノ大字ヤハリ久保田
健次郎ト云フ人ノ所有地ニ分析ノ結果ニ依ッテ這入ッテ居ル、其他群馬縣ノ休泊村
ノ林甚四郎ト云フ人ノ持地ニハ、一萬分ノ中ニ百十五砒素ガ含シテ居ル、是ハ古
コトデハナイデス、昨年ノ洪水ニ依リテ流レタモノヲ分析シタ結果デアリマス、斯様ニ上
ハ此銅毒ガ流シタモノガ、下ニ汎濫致シマシテ到ル所ニ斯様ナル毒ガ含シテ居ルノデアリマ
ス、是等ハ如何ニ隱サウトシテ隱スコトノ出来ナイ事實デアリマシテ、足尾銅山ニハ少シ
モ是等ノ豫防命令ト云フモノガ行ハレテ居ナイト云フ事實デアリマス、諸君ヨ、此
總テノ豫防命令ノコトヲ私ハ概要申上ゲマシタカラ、是カラ此渡良瀬川ニドウ位水ガ出
テ居ルカ、利根川ニドウ位關係シテ居ルカト云フコトヲ申シマスレバ、最近十五箇年以
來ニ遡リマシテ利根川ノ被害ハ昨日政府委員ノ調査報告、即チ原君ノ管理ナサル、
内務省ノ土木局カラ頂戴致シマシタトコロノ水位表、或ハ損害高ニ依ッテ見レバ勿論
三十九年ニ至ル分ハ組入レテアリマスガ、三十九年ノ利根川ノ損害ヲ一千萬圓ト見
マシタナラバ、最近十五箇年ニ於キマシテ三十九年、三十九年、三十九年、三十九年
年ノ四回ニ於キマシテ水ノ出タ水量、及損害ト云フモノハ、四千六百六十九萬圓ノ損
害デアリマス、諸君渡良瀬川ノ損害ハドウカト云フト、私ハ詳細ナル統計ヲ持チマセヌガ
渡良瀬川ノ沿岸ノ損害ト云フモノハ、少ナクモ利根川ノ二倍三倍ニナッテ居ルト云フコ
トハ斷言シテ憚ラナイノデアアル、何故デアレバ渡良瀬川沿岸地方ハ悉ク廢村ニナッテ居
ル——村ガ皆潰レテ居ル、又耕耘ノ用ニ足ラナイ荒地ガ出来テ居ルト云フ點カラ見マシ
テモ、此倍以上三倍四倍ニナッテ居ルト云フモノ敢テ過言デナイと思フ、ソレハドウ云フ標
準デ出ルカト申シマスレバ、例ヘバ此鑛毒免租地ト云フモノガ二萬四千六百町歩アルノ

テ、私ハ尙言ハナケレバナラヌ、農商務省ノ監督官ハ、此嚴重ナルトコロノ命令ヲ施行スル——厲行スルダケノ責任ガアルノデアル、然ルニ何時モ監督官ガ足尾ノ山ヘ行キ、又東京ニ居リマシテモ、銅毒ノタメニ腐敗ヲサレテ、少シモ監督ヲシナイ、今日私ハ引合ニ出シテ言フノハ甚ダ氣ノ毒デアリマスガ、彼ノ南挺ニ君デアリマス、聞ク所ニ依レバ南挺三君ハ此暴動事件ノタメニ撲殺サレタト云フ報道ニ接シテ居リマスガ、怪我ガ輕クテ済メバ甚ダ幸福デアルガ、此南挺三君ヲ論ズルハ今日此場合ニ當テ御氣ノ毒デアリマスケレドモ、彼ハ如何ナル人デアリマスカ、彼ハ農商務省ニ於テ此豫防命令ノ工事ノ監督者責任者デアリマシタ、即チ政府ヲ代表シ監督スルトコロノ人ハ命令ヲモズシテ、翻テ足尾鑛業事務所ノ所長トナッタ人デアリマス、諸君ヨ、此暴動ト足尾銅山ノ關係ト云フモノハ附イテ居ルノデアリマス、ツレデ尙所長ニ座ラテ居ルカラシテ、其以外ノ監督官吏ガ足尾ニ行ケバ酒ト藝者ト或ハ黃金ヲ以テ持チ切ルト云フコトデアルカラシテ、此所ニ行フデ何日モ立障ルコトガ出來ナイ、命令ヲ勵行スルコトガ出來ナイト云フコトハ明カデアル諸君ヨ、私ノ言フコトガ嘘デアルト思フナラバ——嘘デアルト思フ方モアリマスマイガ、一度足尾銅山ニ足ヲ入レテ其豫防工事ノ條項ニ照シテ其箇所ヲ見タナラバ、沈澱池ニ屋根ノナイコトモ分シテ居ル、堆積所彼ノ堆積所ニ防備ノシテナイコトモ分ル、腰樋ノ腐ッテ居ルト云フコトモ誰ガ行シテ見デモ分ルノデアリマスカラ、御覽ヲ願ヒマシテ、ドウカ此解決ノ早クセラレンコトヲ希望スルノデアリマス、デ、尙言ハント欲スル點ハ澤山アリマスケレドモ、餘リクダクシク申スノハ却テ御迷惑デアリマスルカラシテ、是等ノ質問ノ要領ニ對シテハ其責任ノ大臣ハ此演壇ニ立チマシテ明瞭ニ答辯アランコトヲ望ムノデアリマス、ツレカラ尙私ハ足尾暴動ノ取締ニ關スル質問ヲ今日出シテゴザイマスルカラ極ク簡單ニ之ヲ一言シテ壇ヲ降ラウト思ヒマス、此足尾銅山ノ暴動事件ハ鑛毒問題トハ牽聯ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、是ハ傭主タル鑛業主ノ古河ト、ツレカラ傭ハレテ居ルトコロノ勞働者トノ悶著ニ過ギナイヤウニ觀察ヲ致シテ居ル、併ナガラ其行動ヤ其取締ニ至リマシタナラバ、國家ガ默シテ見テ居ルコトハ出來ナイ、出來ナイノミナラズ、實ニ非常ナル結果ヲヤハリ此下流及沿岸地方ノ民ハ受ケルノデアリマス、何故デアルト云ヘバ、此各種ノ豫防工事ハ破壞サレ、或ハ選鑛所ヲ破壞サレ、サウシテ水ハ流レ放シ、無政府同様に流シテ置クト云フコトハ、一時間デモ此豫防工事ヲ緩慢ニサレテハ困ルトコロラ數日間此儘ニシテ置クト云フトハ、非常ナ迷惑ヲ感ズルノミナラズ、靦面吾ニ下流ノ人民ト云フモノハ損害ヲ負フ話デアル、然ルニ此傭ハレ主ト傭主者ノ間ノ問題ガ、群馬、栃木ニ於テ五百以上ノ巡查警部ヲ派出シテモ、マダ取締ガ付カヌデ出兵ラスルト云フノハ、何事デアリマスカ、是等ハ内務大臣タルモノ、責任ハドウ云フ譯デアルカ、此ノ如クマデニ到ラセヌ間ニ何故ニ内務大臣ハ取締ヲセヌノデアルカ、實ニ此ノ如キ傭主ト傭人トノ間ノ問題ヲ此ノ如ク騷擾ヲ極メサセルト云フコトハ、内務大臣ノ其責任ト云フモノヲ吾ニ承リタイト思フ、又及ボシテハ、第二ニ此豫防命令ノ厲行ニ付キマシテ、農商務大臣ハ速ニ此取締ヲ附ケマシテ、吾ニ迷惑ヲ懸ケナイヤウニ國家ニ損害ヲ與ヘナイヤウニシテ貫ヒタイト思フノデアアル、デ此暴動事件ニ付キマシテハ、マダ其真相モ私共ハ承知ヲ致シマセヌカラ、内務大臣ハ直ニ此演壇ニ登ラテ報告セラレンコトヲ希望ヲ致シマス

(内務大臣原敬君登壇)

○内務大臣原敬君 只今ノ武蔵君ノ最後ノ御質問ニ御答致シマス、前ノ分ハ農商務省ノ所管デアリマスカラ、私が御答ラスル限リデアリマセヌ 併シ第二ノ質問ニ付イ

テハ、マダ質問書ヲ拜見シテ居リマセヌ故ニ、如何ナル事が記載シテアルカ分リマセヌガ、只今ノ御演説ニ依リマスルト、多分斯ウ云フ事ノ御尋テアリマセウ、備主ト坑夫トノ間ノ騷動ヲ何故ニ早ク取締シナシタカ、何故ニ出兵ヲスルニマデ至ッタカ、斯ウ云フヤウナ御尋ト見エマス、果シテ然リトスレバ是ハ諸君ノ公明ナル判斷ニ訴ヘルニ甚ダ容易ナリト考ヘル、何分足尾ニ於ケル坑夫ハ一万内外ノ人デアアル、而シテ備主而シテ雇主ト工夫トノ間ニ何カ異論ヲ生ジタト云フコトモ事實デアリマセウ、併シ一方ニハ其工夫ノ一部ヲ教唆シテ、之ヲ煽動シ、騷動ヲ起サセタモノモアル、此者ハ至誠會ト稱シテ、北海道ノ夕張邊ニアルモノ、一部ト承リマス共一員タル南何某ナルモノハ昨年ノ暮以來足尾ニ這入り込シテ、勞働者ヲ煽動シテ何カ不穩ノコトヲ致シハシナイカト云フ懸念ハアッタデアリマス、ソレ故ニ栃木縣ニ於テハ警察上出來得ルダケノ取締ヲ致シテ居ル、併シ不幸ニシテ數日前暴動ヲ致シテ、多數ノ人間ガ、ソコ此處ニ徘徊致シ、而シテ鑛業所ノ役所、役宅等ヲ破壊致シ、其前ニハ最モ危險ナル坑内ニ於ケル見張所ヲ「ダイナマイ」ト以テ破裂サセタ、是ハ幸ニシテ火災ニ至ラズニ終タカラ宜シイガ、若シ火災ニ至レバ坑内ニ居ルコトノ多數ノ人命ヲ失ハナケレバナラヌ危險ナル事柄デアアル、斯様ナル亂暴ヲ致スニ付イテ栃木縣ニ於テハ出來得ルダケノ手ヲ盡シテ、之ヲ鎮壓スル努メテ居ルノデ、サリナガラ縣ノ警察力ニハ限リガアル、今日マデ知事ヨリ報告ニ依レバ二百六七十名ノ巡查ヲ派遣シテ居ル、併ナガラ是ハ全縣下ソコ此處カラ集メテ送ルノデアアルカラ、一時ニ斯様ナル多數ノ巡查ヲ派出スルコトハ出來ヌデアアル、漸次ニ到著ヲ致シテ、今日アタリノ數ハ、二百五十六名ニハナシテ居ラウト思フデアリマス、一万内外ノ工夫ノアル所デ、最モ騷動ヲシテ亂暴ヲ働クモノハ三百人内外ノ様子デアリマスガ、雷同スルキニハ何千人ニモナルデアリマス、此三百人ハバカリノ人間ガ非常ナル亂暴ヲ働クニ對シテ、漸次送り出シタコトノ警察官ガ、僅ニ二百何十人連モ警察力ヲ以テ斯様ナル場合ニ鎮壓スルコトハ出來ヌデアリマス、何故ニ前以テ治メナイカト云フ仰セモアリマスケレドモ、ソレハ道徳論カ何カナラ、ソレデ宜シイカ知ラヌガ、行政上ニハ騷動ノ起ラヌヤウニスルコトハ出來ナイノデ、其事ヲ努メハ致シマスケレドモ、時ニハ暴發ヲスル、此暴發ヲシタトキニハ、之ヲ治安ヲ維持スルタメニ警察ノ力ヲ以テ出來ルダケ鎮壓ヲ致スノデ、其力ノ足ラヌトキハ如何致スカ、他ニ力ヲ借ルヨリ外ハナイノデアアル、故ニ栃木縣知事ハ第一師團ニ照會ヲ致シテ、出兵ヲ請ウタノデアアル、是ハ法律規則ノ命ズルコトデ、警察力ノ及バヌトキニハ、縣知事が師團長ニ請求シ、師團長ハ之ニ應ジテ兵ヲ出スト云フコトハ、今日ノ法律ノ仕事デアリマス、故ニ昨日ニ於テ高崎ノ聯隊ヨリ二中隊ノ兵ヲ出シ、今朝ハ日光ニ著シテ居リマセウ、今日中ニハ足尾ニ到著スルデアリマセウ、大概之ヲ以テ鎮壓スルデアリマセウト考ヘマス、殊ニ二百人ハバカリノ最モ亂暴ヲ働イタコトノ工夫ハ昨夕以來今日ノ午前ニ至マデ坑内ニ這入リテ未ダ出テ來ナイノデアリマス、山ノ坑ノ中ニ這入リテドウ云フ都合デアリマスガ、マダ出ナイ、是ハ出テ何レノ方ニ行クノデアアルカ、何レノ所ニ向テ亂暴ヲスルノデアアルカ、ソレハ出口ニハ相當ナル警戒ヲ加ヘテ居ルト云フコトノ報知ヲ受取テ居ル、只今頃ハドウナシテ居ルカ知ラヌガ、サウ云フ狀況デアアル、故ニ漸次増シタコトノ二百何十名ノ警察力ヲ以テ尙昨日派遣致シタコトノ兵隊ノ力ニ依テ、多分是ハ鎮壓シ得ルデアラウト考ヘマス、併シ今日ヲ經過致サヌケレバ、斷言ヲ致スコトハ出來ヌデアリマス、且又彼ノ地ニ於ケルコトノ交通ハ極メテ不便ニシテ、電信、電話ノ機關モ多クハ破ラレテ、時々刻々ニ詳細ノ報告ヲ受取ルコトハ甚ダ困難ヲ感シテ居ル、故ニ其狀況ヲ十分ニ審ニスルコトハ出來ヌデアリマス、唯幸ニシテ今日マデハ餘リ多クハ死傷者ヲ見ナイ、所長始メ鑛業所ノ役員ハ數人負傷ヲ致シ

タ、又工夫ニモ死亡者ガアルト云フコト、併ナガラ暴動ノ際酒ヲ飲シテ崖カラ落チテ二名死シタカ、役宅ニ火ヲ放チテ燒クトキニドウ云フ間違カ一人死シテ居タト云フヤウナ死亡者ハ工夫中ニハアルヤウデアリマスガ、是トモ審ニハ分ラヌガ、幸ニシテ今日マデハ著シイ死傷者ハ見ナイカノヤウニ察セラレマス、何レニシテ詳細ノ報告ヲ受取リマスレバ、明瞭致スデアラウト考ヘマスガ、只今マデノ狀況ハ斯ノ如キ次第デアリマス、何故ニ前以テ鎮壓シナイカトカ、警察ノ手ヲ治メカネテ兵力ヲ出スハ、ドウ云フコト、云フ御説ガアルケレドモ、如何ナル人ヲシテ同ニ當ラシメテモ、今日ノ治安ヲ維持スルニハ先以テ警察ノ力ヲ用井警察ノ力ガ足ラザレバ、兵力ヲ出ス外ニ方法ハナイノデアリマス、若シ武藤君ノ如キ人が局ニ當ラレテ御名案ガアレバ格別、吾々ノ爲ストコロニ於テハ、法律規則ノ範圍内ニ於テ、暴動ヲ鎮壓スル外ハ今日ノ行政上ノ組織ニ於テハ、是以上ハ出來ナイノデアアル、故ニ之ヲ以テ私ハ職員ノ許ス限リ、此暴動ヲ鎮壓シヤウト考ヘマスカラ、其邊ハ諸君ノ公平ナル御諒察ヲ願ヒタイ

○副議長(箕浦勝人君) 是ヨリ日程ニ移リマス、第一ヨリ第四マデハ豫算案デアリマスカラ、併セテ委員長ヨリ報告ヲ致シマス——栗原君

〔栗原亮一君登壇〕

○栗原亮一君 四十年度ノ總豫算ハ、マダ審査期限中デアリマスガ、其期限中ニ於キマシテ二十九年度ノ追加豫算ガ提出ニナリマシテ、此中ニハ最モ緊急ヲ要スルモノガアリマスカラシテ、此追加豫算ダケヲ審査中ニ委員會ヲ終リマシテ、諸君ニ御報告申スノデアリマス、尤モ緊急ヲ要シマスモノハ、第一號ノ追加豫算中此萬國海陸軍祝典會ガ亞米利加ニ於テ舉行ニナリマスノデ、此經費ガ四十年度ノ四月以降ノ分モ總豫算ニアリマスケレドモ、ソレハ僅カニ五萬圓餘デアリマシテ、此派出ヲ急要トシマスカラ、此金額ノ二十七萬圓餘——ト云フ重ナルモノハ、二十九年度ノ支出ヲ要スルノデアリマシテ、此準備モ今將ニ進行中デアアル極デ、當局者ニ於キマシテハ、一日モ速ニ此事ヲ實行致シタイト云フタメニ此處ニ決議ヲ緊急トシタノデアリマス、此中ノ第一號ニ於キマシテハ、鐵入ノ私設鐵道買收カラ上ルトコロノ鐵道益金ノ五百三十三萬圓餘、ソレカラ前年度ノ經費仕拂ニ係ルトコロノ返納金ノ七十七萬圓、其餘ハ前年度ノ繰入金ノ二百七十萬圓餘デアリマシテ、此中ニ科目ハ多クアリマスケレドモ、先ヅ著シイノハ海陸軍ノ祝典會其他ハ三十九年七月以降ノ洪水ノタメニ群馬、山梨、長野ノ三縣ノ河川堤防道路等ノ破損ヲ修築スルト云フコト、ソレカラ鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依テ要スルトコロノ買收鐵道ノ代價利子及政府ニ繼承シタル買收鐵道會社債務ニ對スル等ノタメ國債整理基金繰入ヲ要スルニ依リ五百九萬圓其他重ナルモノガ、二三件アリマスガ、先ヅ大要斯ウ云フタメニ緊急決議ヲ要スルノデアリマシテ、此第一號ハ委員會ニ於キマシテモ全會一致ヲ以テ可決ニシタノデアリマス、ソレカラ第二號ハ是ハ誠ニ簡單ナルデアリマシテ、外務省及在外公館ノ電信料ヲ多ク要スルタメニ豫算ニ不足ヲ生ジタ其金額モ十三萬圓デアリマスカラ、格別此費目ニ於キマシテハ論モナイコトデアリマスガ、併シ此簡單ナル追加豫算第一號ノ編纂ノ時分ニ加ヘズシテ、之ヲ別ニスルト云フヤウナ、事ハ成ルベク止メテ欲シイ追加豫算ハ政府ニ於テモ謹シテ極ク已ムヲ得ヌ外ハ出サナイヤウニ、又出ストキニハ成ルベク總メラユウニシテ貫ヒタイ、斯ノ如キモノヲ別冊ニスル必要ナイト思フニ、斯ノ如ク別ニスルノハ、甚ダ此豫算追加案ヲ濫發スルガ如キ嫌ガアルカラシテ、之ハ本案ニ於テハ異論ハナイケレドモ、以來斯ノ如キコトノナイヤウニドウカ叱リ置イテ吳レト云フコトガ、委員會ニ於テノ話デアリマシタ、ソレカラ臺灣第一號ノ三十九年度ノ特別會計ハ、是ハ臺灣總督府ノ二十五萬圓ト、ソレカラ臺灣

ノ官設鐵道ノ用品資金ノ十五萬圓、國債整理基金法ハ既ニ成立ニナリマシテ、此方へ組入レルトコロノ金ガ、千五十七萬圓、之モ格別異論ノナイコトデアリマシテ、全會一致ヲ以テ可決シタデアリマシテ、ソレカラ追第一號ノ豫算外國庫負擔ノ契約デアリマス、是ハ當時世ニ公ニナリマシタ如クニ南滿洲鐵道ガ條約ノ結果、國家ニ歸シマシタカラシテ、其鐵道其他ノ財產ヲ資金ニ評價シテ、一億圓ト致シ、サウシテ他ノ一億圓ハ一般ヨリ募集スルコトニナリマシテ、是ハ當時議會ノ前ニ於キマシテ政府ヨリ貴衆兩院ノ議員中、又實業家等ヨリ委員ヲ選定ニナリマシテ、サウシテ調査ニ調査ヲ重ネ、其ノ結果、斯ノ如キモノガ出來タデアリマシタガ、併シ當時此利子ヲ補給スルコトニ於キマシテハ、議會ノ協贊ヲ經ナケレバナラヌカラシテ、是ガ條件附ニナリテ居ルデアリマシテ、今日議會ノ開ケル場合、六朱ノ利子補給スルヤウニ協贊ヲ經ルトコノ案デアリマス、是ニハ一人ノ反對者ハアリマシタケレドモ、委員會ニ於キマシテハ可決スルコトニ相成ッタデアリマス、一括シテ御報告ヲ致シマス

○副議長(箕浦勝人君) 議事日程第一、第一號追加豫算ヲ全部議題ト致シマス

第一 (第一號)明治三十九年度歲入歲出總豫算追加案

○委員長報告通り賛成「ト呼フ者アリ」
○副議長(箕浦勝人君) 御異議ハアリマセカ

(異議ナシ)「ト呼フ者アリ」

○副議長(箕浦勝人君) 異議ナシト認メテ確定致シマス、議事日程第二、第二號追加豫算全部ヲ議題ニ致シマス

第二 (第二號)明治三十九年度歲入歲出總豫算追加案

○委員長報告通り賛成「ト呼フ者アリ」

○副議長(箕浦勝人君) 委員會報告通り御異議ハアリマセカ

(異議ナシ)「ト呼フ者アリ」

○副議長(箕浦勝人君) 異議ナシト認メテ確定致シマス、議事日程第三、特第一號特別會計ヲ議題ト致シマス

第二 (特第一號)明治三十九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

○副議長(箕浦勝人君) 是モ委員長報告通り御異議ハアリマセカ

(異議ナシ)「ト呼フ者アリ」

○副議長(箕浦勝人君) 異議ナシト認メテ、全部確定致シマス、議事日程第四、追第一號豫算外國庫負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スル件、全部議題ニ供シマス

第四 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(異議ナシ)「ト呼フ者アリ」

(早速整爾君登壇)

○早速整爾君 諸君、私ハ遺憾ナガラ此本案ニ反對ヲ致スモノデアリマス、其理由ハ本案ハ此南滿洲鐵道會社ニ對スル利子ノ補給若クハ社債元利ノ仕拂ヲ保證スルト云フ契約ノ案デアリマス、此事態其モノニ對シマシテハ、本員モ或ハ其必要ガアラウカト云フコトヲ認メテ居リマスニ拘ラズ、南滿洲鐵道株式會社ト云フモノ、設立ガ根本ニ於テ適法デアリト信シマス、此會社ニ對シテ利子ヲ補給スル、若クハ社債元利ノ仕拂ヲ保證スルト云フコトノ如キハ、順序ノ宜シキヲ得タモノデアリト云フ理由ニ於テ本案ニ賛成スルコトガ出來ナイデアリマス、此南滿洲鐵道株式會社ハ昨年勅令ノ規定ニ

依リマシテ、日本政府ハ一億圓ノ出資ヲシテ初メテ此成立ヲ見タデアリマス、此一億圓ノ出資ト云フコトガデス、本員共ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、大ニ憲法上ノ疑義ヲ招イデ居ル、思フニ一億圓ノ出資ト云フコトハ明カニ是ハ日本政府ノ國庫ノ負擔ト云フコトヲ意味シテ居ル、勅令ノ明文ヲ見マシテモ、一億圓ノ出資、其出資ト云フコトニ付キマシテマア財產ヲ以テ其出資ノ用ニ供スルト云フコトニハナラデ居リマスケレドモ、免二角一億圓ト云フモノ、出資ヲ日本政府ガシタト云フコトニハ相違ナイ、是ハ明カニ國庫ノ負擔ニ屬スルモノデアル、又勅令ヲ以テ一億圓ノ出資ヲスルト云フコトヲ規定シタノハ明カニ國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナシタモノデアルト、本員ハ確信ヲ致シタモノデアリマス、國庫ノ負擔トナルベキ契約、是ハ固ヨリ豫算外ノ契約デアリマス、政府ガ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスニ當リマシテハ、帝國憲法第六十二條ノ末項ニ依リテ、帝國議會ノ協贊ヲ經ナケレバ其契約ヲナスコトガ出來ナイデアル、然ルニ此一億圓ノ出資、即チ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ唯一ツノ勅令ヲ以テ決定シタト云フコトハ、即チ憲法第六十二條ノ規定ニ違反シタル處分デアルマイカ、政府ハ此南滿洲鐵道會社ノ設立ニ際シマシテ一億圓ノ出資ヲスルニ當リテ、何故ニ帝國議會ノ協贊ヲ求メナカッタカ、又其時機ノ許スペカラザルモノガゴザリマシタナラバ、或ハ緊急勅令ヲ發布スルモ可ナリ、事後承諾ヲ求ムルモ可ナリ、然ルニ此憲法上ノ手續ヲ取ラズシテ、一億圓ノ出資、即チ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナシタト云フコトハ、明カニ憲法ニ違反シタルコトヲ行爲デアルト私ハ信ズル、唯此間ニ多少ノ辯解ヲナスモノガゴザリマシテ、一億圓ノ出資トハ云フケレドモ、併ナガラ是ハ金ヲ支出シタト云フ風ノモノトハ其性質ヲ異ニシテ居ル、即チ鐵道炭礦若クハ其附屬ノ土地、一ノ財產ヲ提供シテ出資ノ用ニ供シタノデアルカラ、國庫カラ金ヲ支出シタ問題トハ其性質ヲ異ニシテ居ルト云フ一ノ議論ガアルノデアリマス、併ナガラ本員共ノ考フルトコロニ依レバ、彼ノ勅令ヲ見テモ能ク分ルケレドモ、一億圓ト云フ出資ト云フモノガ、其出資ノ用ニ供スルタメニ鐵道其他ノ財產ト云フモノヲ提供シタト云フニ過ギナイノデアリマス、是ハハリ明カニ國庫ノ負擔ニ相違ナイ、如何ナル種類ノ財產ト雖モ之ヲ提出シテ資本トナス資本トナスト云フ關係ニ於キマシテハ、明ニ是ハ支出ト云フコトヲ意味スル、國庫ノ支出ヲ意味スル、如何ナル種類ノ財產ト雖モ、之ヲ提供シテ之ヲ資本トスル、明カニ國庫ノ負擔ニ相違ナイ、即チ出資行爲デアデ、此出資行爲ト云フコトガ、國庫ノ負擔タルベキコトガ明カデアル以上ハ、ドウシテモ六十二條ノ末項ニ依リテ、帝國議會ノ協贊ヲ經ルト云フ手續ヲ取ラナケレバナラヌト考フルノデアリマス、成程此國有財產ノ管理行爲ニ付キマシテハ、官有財產管理規則ト云フモノガアッテ、官有財產管理規則ニハ政府ニ向ッテ、此國有財產ノ管理規則ニ依リテ、政府ハ官有財產ノ處分ヲシタノデアル、別ニ差支ナイト云フ議論ガアルノデアリマス、此點ニ付キマシテモ私ハ北南滿洲鐵道會社ニ對シテ一億圓ノ出資ヲシタノハ、即チ出資行爲デアル、決シテ國有財產ノ管理行爲デアハナイデアラウト思フ、況ヤ此出資行爲ハ官有財產管理規則ノ中ニ許シタル國有財產ノ賣拂、讓與、交換若クハ貸附ト云フモノトハ、其性質ヲ異ニシテ居ル、殊ニ官有財產管理規則ニ依リマシテ、財產ヲ讓與スルコトガ出來ル、交換ヲスルコトガ出來ル、貸附ヲスルコトガ出來ルト云フ場合ハ、主トシテ此公共團體ノ公共ノ利益ニ關スル場合ニ之ヲ讓與スルコトガ出來ルト云フ意味ノ規定デアル、一ノ營利會社ニ向ッテ隨意ニ、勝手ニ、自由ニ、國有ノ財產ヲ或ハ讓渡スルカ、交付スルコト云フヤウナコトハ是ハ官有財產管理規則ノ上ニハ、決シテ認メテ居ラナイノデアリマス、即チ假リニ官有財產管理規則ノ

如キ一ノ法律ヲ設ケテ、其法律ニ依テ此財產ヲ處置スルコトナラバ卒サ知ラズ、免ニ角
官有財產管理規則ノ許ス、範圍内ニ於テ、此處置ヲ取ツタモノト辯解スルモノガゴザイマ
シタナラバ、ソレハ即チ牽強附會ノ最モ甚シキモノナアル、本員共ノ決シテ首肯スルコト
ガ出來ナイ點デゴザイマス、ソレカラ今一ノ點ハ、此南滿洲鐵道會社ノ設立ト云フコトニ
付キマシテハ、商法ノ例外法トシテ法律ヲ以テ其組織ノ規定ヲシナケレバナルマイト本員
ハ考ヘテ居ル、政府ハ勅令ヲ以テ此南滿洲鐵道會社ノ設立ヲ規定シタノデゴザイマス
ガ、是ハ即チ立法權ノ侵害ナル、法律ヲ以テ規定スベキモノヲ勅令ヲ以テ規定シタト
云フ誤リニ陷リ居ルモノデアラウト思フ、明治三十二年法律第八十七號、是ハ帝國臣民
ニシテ鐵道並ニ運輸業ヲ營ムタメニ特別ノ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ定メテ、是ニ
準據セシムルコトヲ得ルト云フ一ノ法律ガアル、即チ韓國ニ於ケル京釜鐵道ノ如キハ、此
七十八號ヲ基礎トシテ設立シタモノデゴザイマス、今度ノ南滿洲鐵道會社ノ設立モ此
法律八十七號ヲ基礎トシテ組織シタモノアルト云フ說ガアル、併ナガラ此法律八十七
號ノ規定ハ帝國臣民——帝國臣民トシテ外國ニ於テ鐵道ノ業ヲ營ム云々トアル一ノ
私立會社——私立會社ト云フ風ノモノニ對シマシテハ、此法律八十七號ノ規定ヲ準
用スルコトガ出來ルデゴザイマセウガ、南滿洲鐵道會社ノ如キ特別ノ性質ヲ帶ビテ居ル
會社ニ向テハ、此法律ヲ準用スルコトガ出來ナイノデアル、南滿洲鐵道會社ハ或ル意
味ニ於キマシテハ、殆ド官立ノ性質ヲ帶ビテ居ル、帝國ノ臣民ノ設立ニ係ルコトコ
ノ一私立會社デハナイ、況ヤ帝國ノ政府ト云フモノガ株主ニナリ、又外國ノ清國ノ政府ガ
株主ニナリ、清國ノ臣民ガ株主ニナリ、斯様ナ混同シタ特別ノ性質ヲ帶ビテ居ル、南滿
洲鐵道會社ノ設立ハ、帝國臣民ガ組織スルコトコノ會社トハ根本ニ於テ其性質ヲ異ニ
シテ居ルカラ、即チ明治三十三年ノ法律八十七號ニ依テ此設立ヲ認メルト云フコト
ハ、ドウシテモ出來ナイ、即チ命令ヲ以テ此設立ヲ規定スルコトガ出來ナイカラ、必ズヤ
商法ノ例外法トシテ、法律ヲ以テ此組織ノ規定ヲシナケレバナラナカッタノデアル、一ノ
農工銀行ノ如キモノ、或ハ北海道殖産銀行ノ如キモノ、大キク申セバ日本銀行ノ如キ
モノ、勸業銀行ノ如キモノ、何レモ法律ヲ以テ組織ヲ規定シ、其法律ヲ準用ヲシテ斯ノ
如キ一種ノ株式會社ト云フモノガ出來テ居ルノデアル、ソレト同シク南滿洲鐵道會社モ
法律ヲ以テ其組織ヲ規定ヲシナケレバナラナイニ拘ラズ、政府ハ唯一ノ命令ヲ以テ其設
立ヲ規定致シマスルコト云フコトハ、明カニ議會ノ立法權ヲ侵害シタモノト言ハナケレバナ
ライノデアル、況ヤ此點ニ於キマシテ、帝國ノ政府ガ一ノ會社ノ株主トナルト云フコトノ如
キハ、是亦法律ニ於テ一ノ疑問ト申サナケレバナラス、或ハ條約ノ履行デアラカラ、此滿
洲鐵道會社ノ設立ノ如キハ、條約ノ履行デアラカラ、憲法ナリ法律ナリノ手續ヲ履ム
必要ハナイト云フ議論ハアリマスガ、條約ハ即チ條約デアアル、對外ノ關係ヲ除イテ內國
ニ於キマシテハ、ドウシテモ國法ノ規定ニ準據シテ、斯ノ如キ組織ト云フモノヲ成立
タシメナケレバナライノデアリマスカラ、私ハ第一段ニ於テ免ニ角憲法違反ノ行為デア
ル、第二段ニ於テ此立法權ヲ侵害シタモノデアルト云フ、此二ツノ點カラ南滿洲鐵道
會社ハ適法ノモノデナイ、南滿洲鐵道會社ト云フモノハ、吾々ガ今日公然之ヲ許スコト
ノ出來ナイ會社デアルト云フコトハ此壇ニ於テ明言致シタノデアル、即チ斯ノ如キ會社
ニ向テ利子ヲ補給スル、社債元利ノ仕拂ノ保證ヲスルガ如キハ、固ヨリ其當ヲ缺イタ
ルモノデアラデ順序ノ宜シキヲ得タルモノデナイト認メマスカラ、此豫算外國庫ノ負擔トナル
契約ヲ要スル件ニ對シテハ、本員ハ反對ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス

〔定規ノ賛成者ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(笑浦勝人君) 長晴登君

○長晴登君 賛成者ガナケレバ言ヒマセヌ

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○副議長(笑浦勝人君) ソレデハ採決致シマス、早速君ノ說ハ賛成者ガゴザイマセヌ
カラ、原案ニ付イテ本案賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(笑浦勝人君) 多數ト認メマス、原案ニ決シマス——チョット御諮リヲ致シ
マスガ、征矢野半彌君ヨリ豫算第四分科會ヲ唯今ヨリ開キタイト云フ 申出ガアリマス
ガ、許シテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(笑浦勝人君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

〔征矢野半彌君〕ソレデハ分科ノ諸君ハ第九委員會室ヘ御出ヲ願ヒマスト呼
ビ

○副議長(笑浦勝人君) 日程第五、關東都督府特別會計法案第一讀會、議案朗
讀

第五 關東都督府特別會計法案(政府提出)

〔書記朗讀〕

關東都督府特別會計法案

關東都督府特別會計法

第一條 關東都督府ノ會計ハ特別トシ其ノ歲入及一般會計ノ補充金ヲ以テ
其ノ歲出ニ充ツ

第二條 關東都督府特別會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定
ム

第三條 政府ハ毎年關東都督府特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出
ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

附則

本法ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 此特別會計法ハ御承知ノ如クニ金州半島ノ
我が租借地ニ於キマシテハ、内地ト諸般ノ事情ヲ異ニ致シテ居リマスガ故ニ、之ヲ一般
會計ニ編入スルニ於キマシテハ、頗ル不便ナ點ガゴザイマスノデ、特別ノ會計トシテ、之
ヲ整理致シタイ、而シテ歲入歲出ガ相均一致シマシテ、會計ノ全ク獨立致シヤウ
ニ致シタイト云フ考カラ、特別會計法ヲ實施スルコトニ致シタイト存ジマスノデ、是ハ極
メテ簡單ナル法律デゴザイマスカラ速ニ御協賛ヲ願ヒマス

○副議長(笑浦勝人君) 御質問ガナケレバ、日程第六ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付
託スベキ委員ノ選舉

第六 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○菅原傳君 議長指名九名ノ委員ニ付託セラレントヲ希望致シマス

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○副議長(笑浦勝人君) 菅原君ノ動議議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フ說ニ
御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 異議ナシト認メマス、其通り決シマス、日程第七、臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案第一讀會、議案朗讀

第七 臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案 第一讀會 (政府提出)

(書記朗讀)

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中左ノ通改正ス
第九條 臺灣官設鐵道用品資金會計ノ經營ニ妨ナキ限ハ一般ノ需要ニ應シ機械其ノ他ノ製作修理ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ臺灣官設鐵道用品資金會計ニ屬スル用品ヲ以テ其ノ材料ニ充ツルコトヲ得

(政府委員祝辰巳君登壇)

○政府委員(祝辰巳君) 臺灣ニ於キマシテ製糖、製氷其他段々各種ノ製造工業モ起リテ發達シマス、只今ノトコロデ是等ノ工場ノ機械等ノ製作修理ヲ致シマス私設工場モナク、不便ヲ感ジテ居リマス次第デゴザイマス、然ルニ一方ニ於キマシテ鐵道ノ營業上必要トシテ持ッテ居リマス鐵工部ニ於キマシテ、是等ノ私設會社ノ機械ノ製作ナリ、修理ナリヲ引受ケテ致シマスルコト云フコトハ、極メテ便宜ノコトデゴザイマス、今日ノ如キ臺灣ノ幼稚ナル工業時代ニ於キマシテハ、極メテ便宜ト存ジマス、ソレ故ニ本案ヲ提出シタル次第デゴザイマス、御審議ノ上御協賛アラント希望致シマス

○副議長(箕浦勝人君) 別ニ御質問モナケレバ、日程第八、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○菅原傳君 議長指名、九名ノ委員ニ付托セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 菅原君ノ動議、議長指名九名ノ委員ニ付托スル說ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 然ラバ其通り決シマス——日程第九、事業公債條例中改正法律案第一讀會ノ續、委員長報告——藤金作君

第九 事業公債條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(藤金作君登壇)

○藤金作君 事業公債條例中改正法律案委員會ノ經過ヲ報告致シマス、本案ハ至テ簡單ナモノデゴザイマス、一億七千五百萬圓デアツタノガ、一千万圓ヲ増加致シマシテ、一億八千五百萬圓トナツテ、此事業公債條例ガ四十年度ニ殘ッテ居ルノハ、最早六百萬八千五百圓程殘ッテ居リマス、而シテ鐵道改良費、製鐵所事業費、電話擴張費ノ如キ此本年ノ豫算ニ繰込マシテ居ルモノハ、一千万六百七十七萬三千二百五十圓程殘ッテ必要ニナツテ居リマス、カルガ故ニ今不足ヲ生ズル額ガ、九百八十二萬四千四百五十圓程不足ヲ致シマスニ依ツテ、之ヲ切リ上ゲテ、千万圓程事業公債條例ノ額ヲ増サウト云フコトデゴザイマス、政府委員ノ説明ヲ求メ、各委員カラ質問モアリマシテ、何レモ

必要ナル改正案ト認メテ滿場一致ヲ以テ原案ヲ贊成致シマシタ
○副議長(箕浦勝人君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ擇決ヲ致シマス、第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 異議ナシト認メテ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○菅原傳君 直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 菅原君ノ動議ノ直ニ第二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ確定ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) ソレデハ全部ヲ議題ニ供シマス、御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 事業公債條例中改正法律案(政府提出) 確定議

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 異議ナシト認メテ、全部確定ヲ報ジマス、——日程第十、北海道地方費法中改正法律案第一讀會ノ續委員長報告——奥村善右衛門君

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 北海道地方費法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(異議ナシ)ト聲起ル

○奥村善右衛門君 北海道地方費法中改正法律案ニ關シマスル特別委員會ノ調査ノ顛末ヲ御報告致シマス、該法律案委員會ニ於キマシテハ、ソレト成規ノ手續ヲ盡シマシテ、開會ノ數前後四回マデ開キマシテゴザイマス、十分慎重ノ調査ヲ遂ゲマシテ、政府委員トノ間ニ二三ノ押問答モアリマシタ、又修正意見モ出タルデアリマス、就キマシテハ委員會諸君ノ中ニハ此改正ノ法律ハ又地方費ガ非常ニ上ルノデハナイカト云フ御懸念モアリマシタガ、政府委員ノ答ハ決シテ税金ヲ上ゲル趣意デハナイ、税金ヲ公平ニスル趣意カラ改正スルノデアルト云フ御答デゴザイマシテ、即チ之ヲ信ジテ委員會ニ於テハ原案ニ決シマシタ

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 採決致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 異議ナシト認メテ、二讀會ヲ開クコトニ決シマス

(異議ナシ)ト聲起ル

○菅原傳君 直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 菅原君ノ直ニ第二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スル動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 異議ナシト認メテ直ニ二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ全部議題ニ供シマス、採決ヲ致シマス、原案ニ御異議ガアリマセヌカ

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 北海道地方費法中改正法律案(政府提出) 確定議

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、全部確定ヲ報ジマス、——日程第十一、第十二ノ同一ノ委員ニ付託サレテ居リマス、委員長ヨリ併セテ報告ヲ請ヒマス、——星野長太郎君

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、全部確定ヲ報ジマス、——日程第十一、第十二ノ同一ノ委員ニ付託サレテ居リマス、委員長ヨリ併セテ報告ヲ請ヒマス、——星野長太郎君

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、全部確定ヲ報ジマス、——日程第十一、第十二ノ同一ノ委員ニ付託サレテ居リマス、委員長ヨリ併セテ報告ヲ請ヒマス、——星野長太郎君

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、全部確定ヲ報ジマス、——日程第十一、第十二ノ同一ノ委員ニ付託サレテ居リマス、委員長ヨリ併セテ報告ヲ請ヒマス、——星野長太郎君

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、全部確定ヲ報ジマス、——日程第十一、第十二ノ同一ノ委員ニ付託サレテ居リマス、委員長ヨリ併セテ報告ヲ請ヒマス、——星野長太郎君

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、全部確定ヲ報ジマス、——日程第十一、第十二ノ同一ノ委員ニ付託サレテ居リマス、委員長ヨリ併セテ報告ヲ請ヒマス、——星野長太郎君

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、全部確定ヲ報ジマス、——日程第十一、第十二ノ同一ノ委員ニ付託サレテ居リマス、委員長ヨリ併セテ報告ヲ請ヒマス、——星野長太郎君

(異議ナシ)ト聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、全部確定ヲ報ジマス、——日程第十一、第十二ノ同一ノ委員ニ付託サレテ居リマス、委員長ヨリ併セテ報告ヲ請ヒマス、——星野長太郎君

(異議ナシ)ト聲起ル

第十一 官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

〔星野長太郎君登壇〕

○星野長太郎君 官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案デゴザイマス、是ハ至ッテ簡單ナ法案デゴザイマスガ、委員會ニ於テ政府委員ノ段々説明モ聞キマスシ、委員諸君カラノ御質問ツレノアリマシタノデゴザイマスガ、結局近來非常ニ印刷ノ事業ガ、仕事ガ多クナリマシテ從來ノ三十七萬圓——資本デハ到底達リ切レヌ、併ナガラニ更ニ資本ヲ増加スルコト云フコトハ、至ッテ面倒アリマスルカラ、ソレヨリハ寧ッ此官廳カラ印刷ヲ申出マスル時分ニ其代金ヲ前拂ニスルコト云フコトニスレバ、別段ニ資本ヲ増加致シマセヌモ滑ニ此業ヲ執デ行カレト云フコトアリマスルノデ、ソレナラバ却テ餘分ナ資本ヲ増加スル手數モアリマセヌカラ、サウ云フコトニシタ方ガ宜シイ、斯ウ云フコトハ委員諸君ノ質問モアリマシタ末、原案ガヤハリ至當アルコト云フコトデ、一同御賛成ニナリマシテゴザイマス、(何ヲ言フテ居ルカ分ラヌト呼フ者アリ)私ハ誠ニドウモ……(明瞭々々ト呼フ者アリ)御察シテ願ヒマス、ソコデ、千住製絨所ノ方ノコトモ、右ト略、同様ノ次第デゴザイマスルガ、ヤハリ仕事ガ多クナリマスニ付キマシテ、運轉資本ガ少ナイ、ソレデ戰時費ノ方デ買入レテ置キマシタ原料品ヲ以テ、此方ヘ廻シマシテ、百萬圓程ニ、詰リナルサウデゴザイマス、左様致シマスト總テ滞リナク事業ガ出來マスト云フコトデゴザイマスカラ、是モ原案ニ賛成致シマシタ

○副議長(箕浦勝人君) 日程第十一ヲ議題ニ供シマス、——本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○菅原傳君 直ニ第二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 菅原君ヨリ讀會省略ノ動議ガアリマス、御異議ガナケレバ其通致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 直ニ全部ヲ議題ニ供シマス、——御異議ハアリマセヌカ

官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案(政府提出) 確定讀

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、確定ヲ報ジマス、——日程第十二、千住製絨所据置運轉資本増加ニ關スル法律案ノ全部ヲ議題ニ供シマス

第十三 明治二十九年法律第十三號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

入ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

○宮部襄君 委員ノ報告ハ極ク單純デアリマスカラ、此席ヨリ報告致シマス、明治二十九年法律第十三號中改正法律案(政府提出)貴族院送付) 改正案ノ要旨ハ公立圖書館ノ職員ヲ長ク其職ニ安シテ、專ラ其任ヲ盡サシムルガためニ、恩給制度ヲ設ケ圖書館ノ公立諸學校ノ職員ニ於ケル待遇ト均衡ヲ保タシメントスルニアリマシテ、洵ニ至當ノコト、考ヘマスノミナラス、今後教育ノ普及進歩ニ伴ヒマシテ、益々圖書館ノ擴張並ニ増設ヲ要シマスル折柄、像本本案ノ制度ヲ設ケテアリマスルト、其職員ヲ選任シマスル上ニ於キマシテモ、亦其職員ヲ長ク其職ニ安シテ、專ラ其任ヲ盡サシメンガためニモ、至極適切ナルモノト認メマス、故ニ委員會ニ於キマシテハ、二三質疑ノ結果直チニ全會一致ヲ以テ原案ノ通り可決致シマシテゴザイマス、此段ヲ報告致シマス

○副議長(箕浦勝人君) 採決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○菅原傳君 直ニ第二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、確定セラレンコトヲ希望致シマス

○副議長(箕浦勝人君) 菅原君ノ動議、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルコト云フニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 異議ナシト認メテ其通り決シマス、直ニ全部ヲ議題ニ供シマス

第十四 明治二十九年法律第十三號中改正法律案(政府提出) 第二讀會

貴族院送付)

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ確定ヲ報ジマス、日程第十四、在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案第一讀會ノ續、委員長報告 上野彌一郎君

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ確定ヲ報ジマス、日程第十四、在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案第一讀會ノ續、委員長報告 上野彌一郎君

第十四 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

出貴族院送付)

○上野彌一郎君 本員ハ在外指定學校職員退隱料、及遺族扶助料法ノ改正法律案委員會ニ對スル經過ト結果ヲ報告致シマス、本案ニ對スル委員會ハ一回ヲ以テ終了致シマシタ、此案ノ改正ノ要旨ハ此第六條ノ二項ニ元ハ「含監及書記」トダケアルノデアリマシテ、是ハサエテ「公立圖書館」職員トソレカラ「小學校」本科正教員ノ資格アル公立幼稚園ノ保母ト之ヲ挿入スルコト云フノデ之ヲ加ヘテ置イテ彼此轉任等ノ場合ニ於キマシテモ其勤務ノ年限ヲ一年數ヲ相互ニ通算シテ、均シク此法律ノ恩典ニ浴セシメヤウト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマシテ、委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ原案ノ通り可決スベキモノデアルト云フコトニ決定シマシタノデアリマス、ドウカ御協賛ヲ請ヒマス

○副議長(箕浦勝人君) 本案ノ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○菅原傳君 直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 菅原君ノ動議、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルコト云フニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

確定讀

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、確定ヲ致シマス、——日程第十三、明治二十九年法律第十三號中改正法律案第一讀會ノ續、委員長報告——宮部襄君

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ガナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、全部ヲ讀題ニ供シマ
ス。採決ヲ致シマス、本案ニ對シテ御異議アリマセヌカ

在外指定學校教員退隱料及扶助料法中改正法律案 確定讀

(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ確定ヲ報シマス、日程第十五、關稅定
率法輸入稅表中改正法律案第一讀會 議案朗讀

第十五 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(東尾平 第一讀會
太郎君外八名提出)

(書記朗讀)

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

關稅定率法輸入稅表中左ノ通改正ス

棉子 無稅

(東尾平太郎君登壇)

○東尾平太郎君 本案ハ提出者九名アリマスルガ、年長ノ廉ヲ以テ納辯ナガラ私ヨリ
提出ノ理由ヲ辯明致シマスカラ、暫ク御清聽ヲ冀ヒマス、關稅定率法輸入稅表中改正
法律案、大變長イ題デアリマスガ、改正ノ要旨ハ輸入稅表中ノ第二十三號、棉子
每百斤二十歩トアリマスノヲ無稅トスル單純ナル改正案デアリマス、棉子ト申シマスル
通常棉ノ實ト稱ヘマシテ、棉ノ中ノ種デアリマス、從來此關西地方ニ於キマシテハ棉
實ノ肥料ヲ用井マスルガ、此原料タル從前ハ内地ノ棉作ハ、十三万町歩程作リマシテ
此棉子ノ原料ハ二百萬斤程内地產出致シマシタガ、明治二十年以來内地ノ棉作
ハ漸次減退シマシテ、今デハ僅カ一萬二千町歩シカアリマセヌ、是カラ產出スル棉子ハ
僅カニ、一千二百萬斤——從前ハ、二百萬斤モ出來シマシタガ、唯今デハ一千二
百萬斤ニナリ居リマス、此ノ如ク内地ノ原料ガ——棉作ノ減退ト共ニ肥料ノ原料ガ、
減シマシタガ故ニ、近來ハ此支那地方ヨリ棉子ヲ輸入致シマシテ、專ラ棉ノ實粕ヲ製
造シマシテ、關西地方ノ肥料ニ供給致ス、次第デアリマス、唯今ノトコロデハ外國カラ如
何程輸入シマスルカト申シマスレバ、五千七百萬斤ノ棉子ハ輸入シマス、其外ニ内地ニ
產出スル棉子ガ一千二百萬斤、ソレカラ生棉ニ含シテ棉ト共ニ這入リマスル棉子ガ千
三百萬斤、之ヲ合セマシテ唯今八千二百萬斤ヨリ外アリマセヌガ、從前ノ内地ニ產出シ
マシタニ二百萬斤ニ比較致シマスレバ、三分ノ一ニモ足リマセヌ、然カシマシテ此棉子ハ專
ラ肥料ノ原料ニ使用シマスルガ、從前ハ彼ノ繰リ棉生棉ト同様ニ從價稅五分デア
デアリマス、百斤ニ付イテ六錢八厘ノ課稅デアリマスガ、彼ノ戰時稅ガ六錢七厘掛
カラ十二錢五厘トナル、昨年關稅定率法ガ改正ニナリテ、俄ニ百斤二十錢ニナリマシタ、
其課稅ノ結果、支那上海ナリ、通州ナリ、又漢口ニ於キマシテ棉子ヲ輸出シマスレバ、
百斤ニ付二十錢ノ稅ガ掛リマスカラ、支那ハ各地方ニ於テ肥料ニ製造シテ、内地ニ段々
輸入シマス、之ガタメ内地ノ工業農業ハ大ニ衰頹シテ、此支那カラ棉粕ト唱ヘルモノ
ノ輸入ガ盛ニ製造セラレマシテ價が高イ、之ガタメ農家ノ困難ハ容易ナモノデアリマセ
ヌ、故ニ當業者ハ關稅定率法ノ第九條第二項ノ肥料ノ材料タルモノハ全部又ハ一部
ノ課稅ヲナシト云フ明文ニ據リマシテ、大藏省ナリ、農商務省ハ全部拂戻ヲ請求致シマ
シタガ大藏大臣又農商務大臣ナリ大體ニ於テハ稍、御同感ノヤウデアリマスガ、昨年十
月一日勅令第二十八號ヲ發布セラレマシテ、此勅令ノ結果トシテ百斤ニ付、七
錢ノ課稅トナリマシタ、之ガタメ當業者ガ全部課稅ヲ希望シマシタモノヲ百斤ニ付、七
錢ノ課稅トナリマセヌ、又此七錢ノ課稅ハ何ヲ標準ニ致サレマシタカ、一向理由ガ分

ラス、近頃政府當局者ニ此事ヲ質問シマス、棉ノ實ハ肥料ノ原料ニ用井、片方油
ヲ榨取ルカラ之ヲ全部課稅トスルト某種ニ影響スル、彼此斟酌シテ百斤ニ付七錢トシタ
ト云フ說明デアリマス、是ハ一理アルヤウデアリマスガ、決シテ其理由ハナキノデアリマス、
如何ニモ棉子百斤ニ付キマシテ分析スレバ、油ガ五升出マス、此五升ノ油ハ肥料製造
上已ムラ得ズ是デケノモノヲ榨取ラナケレバナラヌデアリマス、之ヲ採ラヌト肥料ニナリマ
セヌ、此肥料ガ四十五錢ニナリ、其他ハ廢物利用デ、僅ニ五升ノ油ガ出ルデアル、若
シ又棉子ニ油ガ含有シテ居ルカラ、ソレニ課稅セシナラヌト云フナラバ、彼ノ生棉ニ含
シテ這入リマス棉子ニモ課稅セシナラヌ、三十八萬一千八百萬斤ノ内地含有ハ一千
三百萬斤デアリマス、是ハ悉ク無稅トシテ入リマス、棉子ガ無稅デアデ多少油ガ含有
シテ居ルカラ、之ニ課稅ヲ加ヘルト云フナラバ、一千三百萬含有シテ居ル棉子ヲモ課稅
ニシナケレバナラヌト云フ道理ニナリマス、又内地ノ某種ニ影響ヲ及ボスト云フデアリマ
スガ、是ハ一ヲ知テ二ヲ知ラヌ論デ、取ルニ足ラヌデアリマス、何トナレバ内地ノ某種ハ
全國百二萬石デアリマス、此百二萬石ニ對シテ輸入棉子ノ油ハ九千石デアリマス、
此比例ニシマスレバ一石ニ八合八勺、某種一石ニ對シ棉子ノ油ガ八合八勺デアリマ
ス、此八合八勺ハ有稅ニシテ五錢七厘デ、某種一石ハ十三圓トシマス、是ガタメニコ
タヘマスノハ僅カ五錢七厘デ、二百二十八分ノ一デ、九牛ノ一モニモ足ラヌ、即チ某種
一段歩ニ付イテ無稅ノタメニコタヘマスノハ二錢八厘五毛ヨリコタヘマセヌ、一段歩
ニ付イテ二錢八厘五毛デアリマス、實ニ九牛ノ一モデアリマセヌ、某種ニ影響スルト云フ
道理ハアリマセヌ、之ニ反シテ原料ニシマスレバ、肥料十貫目ニ付イテ十八錢ノ課稅デ、
一段歩二十貫ノ肥料トシマス、一段歩ニ付イテ肥料ニ影響スルコト二十六錢デア
マス、某種ノ影響ハ一段ニ付二錢八厘五毛、肥料ノタメ害スルコト、一段歩ニ付イテ
三十六錢デアリマス、之ヲ課稅ニシマスレバ内地工業ノ發達ヲ害シ、農事ノ發展ヲ阻
害スルコトハ明カ瞭々デアリマス、況ヤ此關稅課課ノ方針ナルモノハ原料ハ成ルベク無
稅ニスル、製造品ハ課稅ニスルト云フ方針デアリマス、然ルニ棉子ニ課稅シ、支那製
造シテ來レバ、無稅ニスルトハ、アベコベノ議論デアル、内地ノ工業ノ發達ヲ計ラヌタメ
本稅ハ無稅ニセンコトヲ希望シマス、願クバ特別委員會ニ付託シテ十分ニ調査ヲ遂ゲラ
レ、御贊成アラントラ希望シマス

○菅原傳君 此案ハ十分審査ヲ要スベキモノト思ヒマスカラ、九名ノ委員ニ議長指名
デ付託セラレンコトヲ

○副議長(箕浦勝人君) 九名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルコトハ異議アリマセヌカ
(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、其通り決定シマス、——日程第十
六、萬國衛生會議並ニ萬國人口統計學會參列員派遣ニ關スル建議案——山根正
次君

第十六 萬國衛生會議並ニ萬國人口統計學會參列員派遣ニ關スル

建議案(山根正次君提出)

萬國衛生會議並ニ萬國人口統計學會參列員派遣ニ關スル建議案
明治四十年九月獨逸國柏林府ニ開催スル萬國衛生會議並ニ萬國人口統計學會
ニ對シ帝國政府ハ我カ帝國ヲ代表スル斯道ノ學者五名以上ヲ派遣シ以テ同
會議ニ參列セシムヘシ

○山根正次君 諸君本員ハ來ル九月二十三日獨逸國柏林府ニ開催サル、トコロノ

第十四回萬國衛生會及「デモクラフ井」會議ニ日本ノ代表者ヲ出スコトヲ建議致シテ置キマシメ付イテ、其理由ヲ簡單ニ述ベマスドウカ御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス、戰後ニ於キマシテ帝國ハ最モ此發展ヲ計ルト云フコトハ、誰モ望ムトコロデアリマスガ、眞ニ其目的ヲ達スルニハ、何ガ一番必要デアルカト申シマスルト、帝國臣民ノ體力即チ健康ト云フコトニ重キヲ置カナケレバナラヌト信ズルデアリマス、然ルニ帝國ノ衛生ハ進マントシテ、甚ダ進マヌノミナラズ、或ハ却テ其狀態ハ反對スル方向ニ向テ進ムヤウナ傾向ガアルノデザイマス、彼ノ獨逸國ニ於キマシテモ殊ニ結核病ノ如キハ、次第ニ其死亡數ヲ減ズルニ拘ハラズ、帝國ノハ其數ヲ次第ニ増シツ、アルノデアリマス、私ハ其死亡率ヲチヨット二ツバカリ申シマス、明治三十五年日本人ノ死シタルハ百九十一万八千三百八十人デアリマス、肺結核ニ罹リテ死シタルハ、八万二千五百五十九人、三十八年二百四十八万九千八百六十八人死シタル、内八万五千三百八十八人ト云フヤウニ、漸々増シテ居ルノデアリマス、殊ニ東京十年間ノ表ニ據ルト、明治二十三年ニ肺病ト唱フル病ノタメ死シタル者ガ八人ノ内十五「プロセント」デアッタモノガ、三十二年ニ即チ十年ノ後ニ二十「プロセント」ハ「見ルヤウナ有様デアリマス、其他癩病ノ如キ、脚氣ノ如キ、「トラホーム」ノ如キ、花柳病患者ノ如キ、實ニ世界一番デアリマス、外務大臣ハ日本帝國ハ一等國ニナッタ、強國ニナッタト云フコトデ、誰彼モ一等國ニナッテ、威張テ居ルノデアリマスガ、此ノ如ク病氣マデ一等國ニナルハ情ケナイデアリマセヌカ、ソレノミナラズ此急性傳染病ハドウデアアルカト申シマス、年々歳々又「ベスト」ノ如キハ實ニ其後ヲ絶ヘズ、ソレガタメ人命ノ上ニ、經濟ノ上ニ、非常ニ損害ヲ與ヘツ、アルノデアリマス、其他工場ノ衛生ノ如キ都鄙ノ衛生法律ノ不備ニ因スルタメニ藥ノ取締ガ出來ズニ惡ルイ藥ヲ飲マセラレテ居ル、建築條例ノ如キハマダ無イ、其他上水、下水學校ノ衛生ノコトカラ、監獄ノ衛生、軍人ノ衛生等ニ至リマスマデ、マダ不備ナル點ガ非常ニ多イデアリマス、然ルニ此不備ヲ補フタメハ彼ノ長ヲ取ルタメニ學問ノ發達タル、殊ニ衛生ノ能ク進ンデ居ル伯林ニ向テ人ヲ派遣スルト云フコトハ、非常ニ必要ナル——今日ノ即チ必要中ノ最モ必要ナルコト、信シマスノデアリマス、因テ此建議案ヲ提出シマシタカラ、ドウカ速ニ御賛成下サルコトヲ希望致スノデアリマス、一言終リニ添ヘテ置キマスガ、是マデ萬國衛生會議「デモクラフ井」會議ニハ日本カラ始終代表者ヲ出シテ居ルノデアリマス、一等國ニナッタナラバ、斯ノ如キ會合ニハ尙更出サンナラヌニ拘ハラズ、國ガ貧乏ニナッタカラ金ガ出ヌ、其タメニ其會ニ派遣スルコトガ出來ヌト云フノハ、甚ダ耻カシイ次第デアリマスカラ、ドウカ滿場ノ御賛成ヲ得テ多數ノ代表者ヲ出スコトヲ希望致シマス、殊ニ是ニハ分科ガ非常ニ岐レテ居リマシテ、多數出シマセヌト、其目的ヲ達スルコトガ十分出來ヌノデアリマスカラ、ドウカ滿場ノ御賛成ヲ得タイノデアリマス

○菅原傳君 是ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス
（「贊成々々」ノ聲起ル）
○副議長（箕浦勝人君） 菅原君ノ發議、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ
（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○副議長（箕浦勝人君） 御異議ナシト認メテ其通り決シマス、日程第十七、萬國博覽會開設ニ關スル建議案

第十七 萬國博覽會開設ニ關スル建議案（森本駿君外二名提出）

萬國博覽會開設ニ關スル建議案
本院ハ第二十二回議會ニ於テ政府カ速ニ萬國博覽會ノ設計ヲ立テ以テ國力ノ發展ニ遺算ナカラムコトヲ努ムヘキ旨ヲ建議シタリ是ニ於テ政府ハ追加豫算ヲ以テ博覽會開設調查費ヲ要求シ且特ニ之カ調査委員ヲ設ケテ審査シタル結果來ル明治四十五年ヲ期シ日本大博覽會ヲ開設スルニ決シ明治四十年度總豫算ニ於テ之カ經費ヲ要求スル所アリト雖右ハ一部ヲ萬國組織トシ其ノ他ハ皆小規模ナル內國博覽會タラシメムトスルモノニシテ本院建議ノ趣旨ニ適セス今や戰後ニ於テ國力發展ノ機會ヲ利導スルカ爲特ニ本年ヨリ起算シ六箇年後ナル明治四十五年ニ開設スヘキ博覽會ハ宜ク之ヲ純然タル萬國博覽會タラシムヘキヲ折衷ノ小規模ノモノノ如キハ功益極メテ大ナラス依リテ政府ハ速ニ萬國博覽會開設ノ豫算ヲ調製シ以テ之ヲ本期議會ニ提出アラムコトヲ望ム
右建議ス

（森本駿君登壇）

○森本駿君 諸君、私ハ萬國博覽會開設ニ關スル建議案ヲ提出シタ一人デアリマス、今日ハ其建議ノ要旨ヲ述ベマシテ、諸君ノ御贊同ヲ仰ギタイト考ヘマス、萬國博覽會開設ノ件ハ二十二議會ニ於テモ、當院ニ於テ建議ガ滿場一致ヲ通過ヲ致シマシテ、其結果トシテ當局者ハ追加豫算ヲ以テ博覽會開設調查費ト云フモノヲ要求セラレ、亞イデ博覽會開設臨時調查會委員ノ組織ガアリマシテ、其委員會ニ於テ博覽會開設ノ件ノ調査ガ出來上ツタノデアリマス、所ガ不幸ニシテ此博覽會開設臨時調查會委員ハ議ガ一致スルコトガ出來ズシテ、一ツニ岐レタノデアリマス、而シテ多數ノ意見ハ明治四十五年ニ日本大博覽會ヲ開設スル、其中幾部分ハ萬國ニ贊同ヲ求メテ、組織ヲ萬國博覽會ノ體裁ニ取ルケレドモ、大部分ハ先ヅ內國ノ組織ニスルト云フコトデアリマシテ、其結果ニハ館ノ數ガ十四館程アル中ニ、萬國ノ贊同ヲ求メル種類ハ、四館シカナイ、外十館ハ內國ノ組織ニナッテ居ルト云フヤウナルコトガ、多數ノ決議トナリマシタ、少數ノ意見ハ此今日議題ニナッテ居ルトコロノ建議案ノ參照乙號ニ加ヘテ置キマシタ如クニ、之ヲ萬國博覽會トシ、是ガ財源ハ割増金付ノ博覽會券ヲ發行シテ、之ニ充テルト云フコトスレバ、政府及開催地ノ支出金左程多クノ金額ヲ要セズシテ、以テ萬國博覽會ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來ルト云フコトニ少數意見ハ一決シタノデアリマス、此少數意見モ併セテ調査會カラシテ當局大臣ニ報告ラシタノデアリマシタガ、當局者ハ日本大博覽會ノ豫算ヲ四十年度ノ總豫算ニ編成セラレテ、是ガ支出金ヲ要求セラレテ居ル、ソレハ大體ニ於テ調査委員會ノ多數ノ意見ヲ採用セラレタモノト認メテ差支ナカラウトモ、認メラレザルトコロナドガ見エルトデアリマス、其點ハ調査委員會多數ノ意見ニ於テハ、博覽會カラシテ出ルトコロノ收入約二百萬圓ノ豫算ガアリマシタ、是モ博覽會ノ自營ニ依ツテ以テ事ヲ爲シ、而シテ其二百萬圓ト云フモノハ博覽會ノ收入財源ノ一ニ供スルト云フ方針ニ多數ノ意見ハ決定セラレテ居ルヲデアル、所ガ聞ク所ニ據レバ、今日ノ豫算ニ於テハ其二百萬圓ノ收入トナルベキコロノ財源ハ、博覽會事務局ガ自營ニ依ツテ之ヲ收入スルト云フコトヲヨシテ、開催地ニ請負事業トシテ以テ請負ハセルト云フ方針ニナッテ居ルヤウニ承知ヲ致シタノデアリ、サウシテ見マスト云フト、博覽會調查會ノ多數ノ意見ヲ全部採用セラレズシテ、一部ハ變更ニモナッテ居ルモノト認メナケレバナラヌデアル、既ニ一部ノ變更ヲセラレテ豫算ヲ編成サレテ居ル以上ハ、又大體ノ變更ヲ爲シ難シトモ保シ難イト信ジマス、一方ニ於テ願ミマスレバ明治四十五年ト云フ年ハ本年ヨリ起算シマスレバ、六箇年後ノコトデアリマス、戰後國力ノ發展ニ伴ウテイロ／＼ノ事業ガ勃興スルト同時ニ、

大ニ事ヲ世界的ニナサントスルナラバ、必ズ博覽會事業ノ如キハ、規模ヲ宏大ニシテ、萬國博覽會ト云フモノヲ設置スルコトヲ、將ニ其時期ヲ得タモノト信ジテ疑ハナイノデアアル、然ルニ僅カニ一部分ヲ萬國組織ニシテ、大部分ハ內國博覽會ノ體裁ヲ存シテ置クト云フコトハ、吾々國運伸張ノ上ニ於テ、甚ダ遺憾ヲ感ズルノデアリマス、或ハ附帶事業ノ困難ナルコトヲ訴ヘテ、到底萬國博覽會ノ組織ハ出來難イト云フヤウナル杞憂論者モナイデアアリマス、ケレドモ十分ナ設備ガ整ウテ、而シテ博覽會ガ何時デモ建チ得ルト云フ時ヲ待ツナラバ、何レノ時ニ於テ之ヲ實行スルコトガ、殆ド豫測スルコトガ出來ヌト思ヒマス、例ヘテ見マスレバ田舎ニ歸リテ而シテ接待ヲ受ケル場合ニ當リテ、其款待ノ極ク偶々中央カラ來タトコロノ人ヲ款待スルノハ、宜シク中央ノ方法ヲ以テ款待スレバ宜カラウト云ウテ料理ヲ東京ニシ、其接待方法ヲ東京ニシテ、サウシテ之ヲ款待スルト云フト、甚ダ遺憾ヲ感ズル點ハケレドモ、款待ノ實ヲ舉ゲルト云フコトハ、地方相當ノ全力ヲ盡シテ、眞面目ヲ以テ款待ノ實ヲ舉ゲマスレバ、其方ガ却テ眞情ヲ露ハシ得テ、而シテ將來ニ益スルトコロガ多大ナリト私ハ信ズルノデアリマス、故ニ博覽會ノ附帶事業ノ如キハ、各國ノ人ヲ招イデ、多少不便ヲ感ゼシメルト云フコトハ、遺憾トスルトコロデアケレドモ、其不便ヲ感ゼシメルト云フコトハ、來ルトコロノ外客其他ノ者モ十分承知シテ來テ居ルノデアリマス、此不便ハ諒シテ、而シテ其不便ヲ感ゼシメルト云フコトハ、他日ニ是ガ改良ヲ計ルト云フコトハ、利益ヲ得ルコトガ最少ナカラヌコト、思ヒマスカラシテ、萬金ヲ得テ而シテ之ヲ開クト云フ時ヲ俟ツナラバ、何レノ日カ其日ヲ豫想スルコトガ出來ナイ、今日ヨリ多少ノ不便ハ忍ビテモ、六年後ニ設備ヲ全ウスレバ、相當ナコトハ出來ヤウト思フ、若シ財源ニ不足ヲ感ズルナラバ、其財源ヲ彼ノ少數意見ノ如ク、割増金付ノ博覽會券ヲ發行シテ、是ニ充テレバ決シテ不足スル憂無シト私ハ信ジテ疑ハヌモノデアリマス、其事ノ如キハ十分ノ審査ヲ經テ、而シテ今後開ク博覽會ヲ是非萬國博覽會トシメテ、一部ノ博覽會ト云フヤウナ姑息ノモノニナラヌヤウニシタイト思フ、即チ明治四十五年ニ開キマスル博覽會ヲ純然タル萬國博覽會ノ組織ニスベシト云フコトヲ、政府ニ建議セント欲スルモノデアリマス、願ハクハ諸君、御考慮ノ結果、滿場御一致ヲ以テ此建議案ノ通過センコトヲ希望致シマス

○菅原傳君 是ハ重大ナル建議案ノヤウニモ考ヘラレマスガ故ニ、願ハクハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

○副議長(箕浦勝人君) 菅原君ノ十八名ノ議長指名ノ委員ニ付託スベシト云フ御説ニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ其通過シマス——報告ガアリマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ明治四十年年度歳入歳出總豫算案ニ對スル修正ヲ提出セラレタリ

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

ロ一マ字普及ニ關スル建議案

提出者 松本 君 平君 根本 正君 竹越 與三郎君
木下 謙次郎君

戶籍法中改正法律案

提出者 小川 平吉君 磯部 四郎君 角田 眞平君

一委員ヲ指名スル左ノ如シ

關東都督府特別會計法案

廣瀬 久政君 福岡 精一君
森 懋君 降旗 元太郎君
佐藤 里治君 脇 榮太郎君

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

東一 左右君 西山 彰君
海野 謙次郎君 市田 兵七君
山田 省三郎君 井上 與一郎君

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

麥田 宰三郎君 鈴木 友次郎君
景山 甚右衛門君 東尾 平太郎君
久保 伊一郎君 鈴木 總兵衛君

萬國衛生會議並萬國人口統計學會參列員派遣ニ關スル建議案

大野 久次君 宮古 啓三郎君
天野 重平君 伊夫 資弼君
山根 正次君 神藤 才一君

萬國博覽會開設ニ關スル建議案

西山 志澄君 江間 俊一君
森 本 駿君 松本 孫右衛門君
中倉 萬次郎君 林 小 參君
角田 眞平君 澤 來 太郎君
石谷 傳四郎君 竹內 正志君
中谷 宇平君 松本 恆之助君

○副議長(箕浦勝人君) 次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御報告致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時十五分散會

遊田 研吉君
江藤 新作君
藤崎 朋之君
齋藤 珪次君
澤田 耕次郎君
萩野 左門君
永見 寛二君
佐藤 伊助君
米田 實君
毛里 保太郎君
國井 庫君
濱口 擔君
工藤 善助君
青柳 信五郎君
木村 半兵衛君
井上 要君
寺井 純司君
濱田 國松君